
PRESS RELEASE

ロンドン、2022年5月16日（月）午前0時1分

2022年第1四半期の出来事がプラチナの需要よりも供給に大きく影響したため、前回の2022年余剰予想を19トンに下方修正

- 2022年のプラチナ供給は5%減少、需要は2%増加と予想
- 前例のない逆風にもかかわらず、2022年の自動車年間需要予測は16%増加
- 欧州、北米、日本、インドでの宝飾品需要は旺盛だが、コロナ禍の影響を受けた中国における需要の減少を相殺できず
- ガラス需要の拡大の減速に隠れているが、プラチナの基礎工業需要は旺盛

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は本日、2022年第1四半期の *Platinum Quarterly* を発表し、2022年の通年予想を修正しました。

既に存在していた問題に加え、2022年第1四半期に起こった過去にない出来事がプラチナの需要と供給の両方に大きな影響を与えたために状況はさらに複雑になり、年内はそれが継続するでしょう。当四半期は、需要（-26%）と供給（-13%）がいずれも前年同期比で減少し、市場は5トンの余剰になりました。一方、通年では、供給は前年比5%減少し、需要は2%増加すると予想されています。

現在、2022年の余剰予想は19トンに引き下げられました。これは2021年の余剰（35トン）からも大きく減少することになります。

供給の制約

2022年第1四半期は、2020年に Anglo American Platinum 社の精錬工場の閉鎖時に蓄積した半完成品在庫の処理が完了したことが確認されました。鉱山生産には、精錬工場の在庫処理に起因する一時的な供給増加がもうみられなくなり、当四半期において基礎生産水準がより鮮明になりました。2022年第1四半期の南アフリカの生産量は前年比16%（5トン）減少し、四半期としての水準は2019年を下回りました。南アフリカにおけるプラチナの鉱山供給量は2022年に9%（13トン）減少すると予測されているほか、3年毎の賃金交渉に関連してストライキが実行される可能性があります。2022年第1四半期は、ロシアの生産量も同11%（1トン）減少しました。地政学的な状況と対ロシア制裁のために、同国における事業環境はますます困難になっています。全体として、世界の鉱山の精錬生産高は同7%（13トン）減の183トンになると予想されています。

2022年第1四半期は、新車販売台数の減少を受けて廃車台数が減少したことを受け、リサイクル供給が制約されました（前年比20%減少）。この問題は年間を通じて継続しますが、改善していくと予想されています。通年のプラチナのリサイクル供給は2%（1トン）減少すると予想されています。

深刻な課題にもかかわらず、自動車需要は顕著

半導体やその他の部品の不足、中国におけるゼロコロナ政策、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた欧州の混乱を背景に、同四半期の自動車セクターのプラチナ総需要は驚くほど堅調でした。需要は前年同期比横ばい（23トン）でしたが、小型車の生産台数の増加、排気ガス規制の厳格化を受けたプラチナ使用量の増加、ガソリン車の触媒としてパラジウムの一部を

代替する需要が続いていることから、2022 年は 16%（13 トン）増加すると見込まれています。

宝飾品需要は中国を除く全地域で増加

婚礼件数の大幅な上昇、価格上昇の影響を受けた金からの振替婚礼需要の増加、および高級ブランドのさらなる成長に刺激され、2022 年第 1 四半期は欧州と北米でプラチナ宝飾品需要が増加しました。このトレンドは年内続くと予想されています。比較基準が低いとはいえ、日本における宝飾品需要も増加しました。インドでは、2022 年第 1 四半期にプラチナ宝飾品需要が増加し、2022 年の加工生産は過去最大水準まで増加すると予想されています。

ただし、これは中国における宝飾品需要の減少を相殺することはできませんでした。中国では新型コロナウイルスのオミクロン変異株流行の悪影響が一因となって、2022 年第 1 四半期のプラチナ加工生産が前年同期比 36%減少しました。パンデミック関連の影響は緩和すると予想されているため、下期には売上高が徐々に回復する見通しです。全体として、2022 年第 1 四半期の世界のプラチナ宝飾品需要は前年比 9%（1 トン）減少し、通年では 2%（1 トン）減少すると予想されています。

基礎工業需要は 2019 年の水準を上回る

2022 年第 1 四半期の石油需要は、コロナ禍からの回復が続き、精錬高が大幅に増加した欧州および北米を中心に、前年比 21%（0.2 トン）増加しました。同様に、医療施設の稼働率がコロナ禍前の水準を回復しているため、医療セクターにおけるプラチナ需要も 15%（0.2 トン）増加しました。両セクターは 2022 年に需要が増加すると予想されています。

一方で、プラチナの 2022 年第 1 四半期のガラス需要は予想通り前年比 56%（6 トン）減少しました。このように一見劇的に減少しているように見えるのは、2021 年第 1 四半期に新工場の処理能力への投資が完了し、工場が稼働したため、需要が異例に旺盛だったからです。ガラスセクターからの需要減少は、2022 年第 1 四半期の工業需要全体が前年比 25%（5 トン）、通年予想で 16%減少する主因となりました。ただし、2022 年通年の工業セクターからの需要は、過去 3 番目の高水準であると依然予想されています。

円安と ETF 解約の影響を受けた投資需要

地金およびコイン需要は 2021 年第 1 四半期の 1 トンから 2022 年第 1 四半期に 2 トンに増加しました。しかしながら、北米では需要が特に好調だったものの、ドル建ての価格が底堅く、大幅な円安環境で国内でのプラチナ価格が昨年 5 月以来の高水準に押し上げられた日本の投資家が利益確定に動いたため、世界の需要成長は限定的でした。このトレンドは来四半期も継続し、通年では世界の地金およびコイン需要は 23%減少すると予想されています。

ETFについては、2022 年第 1 四半期の流出は、主に欧州の 1 つの ETF 発行体によるもので、これはインフレ懸念が強く、地政学および経済的な不確実性が高い状態が続いているため、実物資産が魅力的であると投資家が考えているのとは対照的です。年内は ETF 銘柄に緩やかに資金が流入し、通年でプラチナが 2 トン流出すると予想されています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの Paul Wilson（ポール・ウィルソン）CEO は以下のように述べています。

「2022 年第 1 四半期の期首には、コロナ禍からの経済回復において、大半の地域の状況は様々でした。しかし、2 月末にロシアがウクライナに侵攻すると、市場に衝撃が走り、この影響はこの先何か月、何年と覚えることでしょう。既にコロナ関連の要因や事業環境の困難が存在していたところに、この新たな複雑性が加わったため、市場全体の変動が大きくなると思われまます。」

「2020 年に Anglo American Platinum の精錬工場閉鎖中に累積した半完成品在庫が処理された今、南アフリカの生産は実際は 2019 年の水準を下回っていたという現実が明らかになり

ました。このことと、リサイクルされる原材料の大幅な減少は、需要が成長し続ける一方で、今後数か月間供給が制約されることを示唆しています。」

「ウクライナにおける悲劇的な戦争の代償はまだわかりませんが、プラチナは間接的に大きな影響を受ける可能性があります。パラジウム（そしてプラチナもある程度）の世界の鉱山供給におけるロシアの重要性を鑑みると、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて、特にパラジウムの供給確保に対する懸念が高まっています。これにより、パラジウムの代替としてのプラチナを使用する動きが強まり、様々な市場参加者が調達および在庫管理戦略を修正する可能性があります。」

「脱炭素化に加え、各国政府のエネルギー供給確保問題はかつてよりもはるかに大きな問題になりました。欧州の天然ガス輸入削減におけるグリーン水素の役割は、電解装置建設の戦略的な加速を推進する可能性があります。プラチナはこのことから直接恩恵を受けるだけでなく、燃料電池車（FCEV）の広範かつ商業的な採用に必要なインフラへのサポートも得られます。」環境に貢献する機会を模索している投資家は、世界的なネットゼロの目標を達成するにあたり、グリーン水素を生産するための電解槽と、水素燃料電池の両方に使用される水素の重要な貢献を可能にするプラチナの戦略的に重要な役割についての認識をますます深めています。

プラチナ供給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022年数字	2021年度/2020年度成長率 (%)		2022年度予測/2021年度成長率 (%)		2021年第1四半期		2021年第4四半期		Q1 2022	
					2021年度	2022年度	2021年第1四半期	2021年第4四半期	Q1 2022					
供給														
鉱山高	189	155	196	183	26%	-7%	46	53	40					
南アフリカ	136	103	146	132	42%	-9%	32	40	27					
ジンバブエ	14	14	15	14	8%	-6%	4	4	4					
北米	11	10	8	10	-19%	22%	3	2	3					
ロシア	22	22	20	19	-7%	-6%	6	6	5					
その他	5	6	6	6	3%	-1%	2	2	2					
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+0	-3	-3	+0	N/A	N/A	-1	-1	+0					
鉱山からの供給総量	189	153	193	183	26%	-5%	45	52	40					
リサイクル	66	60	61	59	1%	-2%	16	14	13					
自動車触媒	49	45	46	44	2%	-3%	12	10	9					
宝飾品	15	13	13	13	0%	0%	4	3	3					
工業	2	2	2	2	1%	3%	1	1	1					
供給総量	255	213	254	242	19%	-5%	61	66	53					
需要														
自動車	89	75	82	95	10%	16%	23	21	23					
自動車触媒	89	75	82	95	10%	16%	23	21	23					
ノンロード	†	†	†	†	†	†	†	†	†					
宝飾品	65	57	60	59	6%	-2%	15	16	14					
工業	66	62	78	66	27%	-16%	22	19	17					
化学	22	19	21	19	15%	-11%	4	6	3					
石油	7	3	5	6	58%	12%	1	2	1					
電気	4	4	4	4	4%	-6%	1	1	1					
ガラス	7	13	22	10	75%	-54%	10	4	4					
医療	8	7	8	8	4%	5%	2	2	2					
その他	18	16	17	18	11%	6%	4	5	4					
投資	38	48	(1)	3	N/A	N/A	5	(3)	(5)					
地金、コインの増減	8	18	10	8	-43%	-23%	1	3	2					
ETF保有高の増減	31	16	(7)	(2)	N/A	N/A	3	(5)	(5)					
取引所在庫の増減	(1)	14	(4)	(3)	N/A	N/A	1	(1)	(2)					
総需要	259	241	219	223	-9%	2%	64	53	48					
残存量	-4	-28	35	19	N/A	-44%	-4	13	5					
地上在庫	110**	82	117	136	43%	17%								

出典: Metals Focus 2019 - 2022

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫3,650 koz (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

メディア関連のご要望は、Elephant Communicationsにお問い合わせください
Guy Bellamy / Jim Follett / Charlotte Raisbeck
wpic@elephantcommunications.co.uk

ENDS-

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。白金族金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPICは、南アフリカの主要プラチナ生産者により2014年に創設されました。WPICの加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の1つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは8つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの2つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去5年間の年間プラチナ総供給量(精製済みオンス)の73%~76%は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の31%から42%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の28%となっています（過去5年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の28%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去5年間は総需要の-1%から20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。